

2022.03.20. 「敬虔な女性」 Mac 牧師

おはようございます。JD フラッグ牧師の代講です。カルバリーチャペル・カネオへの、日曜日朝のライブ配信礼拝に歓迎します。これは第二礼拝、今朝の、2つ目の題材メッセージです。御言葉に入る前に、祈りのひと時を持ちたいので、どうか一緒をお願いします。今一度、天にまします御父よ。あなたがこの願いを尊重してくださることを知りながら、震えながらも大胆にあなたの恵みの御座に近づきます。今一度、天にまします御父よ。あなたがこの願いを尊重してくださることを知りながら、震えながらも大胆にあなたの恵みの御座に近づきます。主よ、それはシンプルな事です。あなたの真理を語ってくださいますように。私たち全員がそれを聞き、心に刻むことができますように。御言葉を聞き、それに耳を傾けるすべての耳を祝福し、あなたの完全な御心に私たちを一致させてください。今、この聖域で私たちに出会って下さり、あなたの聖霊が、私たちを満たし、あなたからしか得られない知識を与えてくださいますように。救世主イエス・キリストの、力強い御名において、祈ります。アーメン。

それでは！ 今朝の2つ目の学びは、「敬虔な女性」というタイトルです。そう、楽しもうじゃないですか。-(笑)- さて、第一礼拝では、私は世界で最も敬虔な男ではない、そう主張したこともない、と話しました。ではこれについては、どう言いましょかね。私が、「敬虔な女性」でないのは、明白です。-(笑)- そのことを皆さんご存知なのをはっきりさせたいと思います。なぜなら、こんにち、本当に混乱しているからです。-(笑)- 何を言っているかは、お分かりですよ？ 彼らは、本当に混乱します。私は混乱しません。皆さんもしないでしょう。私は女性ではありませんが、御言葉は、「敬虔な女性」とはどのようなものかを、詳しく説明しています。また、男性と同じように、教会に来て、ミニストリーに参加したからといって、自動的に敬虔な女性になるわけでは、まったくありません。これは注意すべき本場に重要なことですが、私の推測では、特に女の方は、教会の中で、そしてミニストリーの働きに於いて、大きな足跡を残すからです。皆さんも、そう思われるでしょう？ 教会会衆席には、男性より女性の方が多いいですよ。その理由はいくつかあるようです。男性が皆、教会に来たがらないだけとは言いたくありませんが、幾人かは来たがりません。全員じゃありませんよ。仕事もあるし、家庭の事情もあります。やるべき責任あり、物事は現実的です。私はそれを理解します。とはいえ、女性の方は大きな足跡を残し、大きな影響力を持っています。本当に大きい影響力です。そして、それは重要です。さて、神のことに関し、女性が持つ影響力の重大さについて、私が、どこからきてるのかを、皆さんが理解して下さるよう祈ります。そして、皆さんに託されたこの役割は、とても重要、非常に重要です。そして多くの場合、敬虔な男性は、その敬虔な女性なしにはあり得えません。その事例が私です。自分が最も敬虔な男だとは言えませんが、主に従うことは喜びです。私に、初めてその聖句を引用してくれたのは、妻でした。そのことを考えてみてください。敬虔な女性とはどういうものかを学ぶとき、役立つのが「箴言 31 章」です。よくご存知の聖句です。今すぐには入りませんが、ここで、貞淑な妻について語られています。この御言葉の中にある、いくつかの属性や特徴を見ていこうと思います。「敬虔な男性」に関する教え同様、すべての初めに立ち返り、御言葉の中にある、驚くべき真理を見出すことができるよう、祈ります。今朝の2つの教えの中で、この教えが一番難しいのですが、「私は女性でないから。」というような理由ではありません。それは、男性よりも女性の方が、自分自身や自分の役割について熟知しているからです。ここには学識ある女性たちがいて、兄弟の私が何を発言するのか待っておられるんです。-(笑)- 私に向かって、「ん”~~~~」とガン見しておられるのが分かります。-(笑)- ですから私は、全てを順追って話し

の方が良いと思います。ー(笑)ー その点、皆さんを称賛します。本当に、神の御言葉への気配りが素晴らしいですね。そこで、主のお許しを得て、「初まりの書/創世記」に戻り、敬虔な女性に関する様々な本文を解説し、貞淑な妻の具体的な姿を検証し、最後に、祈りながら敬虔な女性が偉大な管理者である敬虔な家庭について、説明したいと思います。ついて来えますか？ では、「創世記 1 章 26～27 節」を見てみましょう。とてもよく知られていますね。御言葉をお読みします。

創世記 1

26「神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして”彼ら”が、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」

27「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」

これは、人間/男性と女性の両方の創造に関する概要です。具体的な人間の創造については創世記 2 章 7 節に書かれているからです。ですからここは、概要です。まとめです。留意すべきは、26 節で神が仰っている事。「”彼らに”支配させる。」「彼に支配させよ」「彼女に支配させよ」とは仰られず、「”彼らに”支配させる」と言われたのです。この神の御言葉を聞いていますか？ 分かりますか？ 1 章を読み進めると、28 節で、神が”彼ら”を祝福し、「地に満ちよ。地を従えよ。」と仰ったことが分かります。何が要点なのか？ シンプルです。私たちは、神の御目から見て平等に価値があり創造されました。その価値は、昔も今も平等です。おわかりですか？ このことを、語りかけているのです。最初から神のご計画は、平等な支配権でした。そして、これを知ってください。千年王国では、そのように戻ります。人は神の似姿に創造され、男性も女性もです。「MAN」という言葉は、男性だけに使われているのではなく、人類、人間、人類全体に対して使われています。そして、この価値は平等であり、男性にも女性にも等しい価値です。神の御目には決して消えません。人間が墮落した後でさえも、神が、男と女に持たれているその価値は同じです。さて、人間の墮落が、男と女としての本来のあるべき姿を、変えてしまったのです。それが起こりました。しかし、価値は変わってません。さてこれから、いくつかの御言葉を参照しながら、物事を整理していきます。今朝、それをここで行います。では早速「創世記 2 章 21 節～22 節」にある女性の創造について見てみましょう。神の御言葉をお読みします。

創世記 2

21「神である【主】は、深い眠りを人に下された。それで、人は眠った。主は彼のあばら骨の一つを取り、そのところを肉でふさがれた。」

22「神である【主】は、人から取ったあばら骨を一人の女に造り上げ、人のところに連れて来られた。」

これは、神がアダムの脇腹からあばら骨を取られたことによって、女性が持つ平等性を示しているだけでなく、他のことも示していると私は考えています。考えてみてください。女性がいなければ、男性は不完全な存在なのです。皆さん、聞いていますか？ 女性なくして、男性は不完全なのです。何か私たちが不足しているのです。神の人ならそれを知っているはずです。神の人なら、必要としているもの、つまり私のそばに在るべきもの、それが女性であることに気づくはずです。共同相続人です。そしてあばら骨から女性が創られたことについて、こう考えてみてください。彼女は、既に生きている存在から造られたのです。分かりますか？ 男性は、地のちりから創られました。そして、いのちが吹き込まれたのです。しかし女性は、そのあばら骨から形成されました。それは、女性のユニークさと、すでに本能的に備わっ

ている神との親密さも物語っています。それが、私に示されています。そして女性、つまり敬虔な女性がこれを理解することは非常に重要です。なぜなら、女性が神を知り、神を畏れるとき、神が置かれたその立場における自分の価値を明確に理解するからです。

そして、彼女は聖霊の御力によって、若い頃から、その役割を果たすため努力します。そこから始まり、その主を畏れる気持ちが、多くの敬虔な習慣を、生み出すはずで、多くの。

そこから始まり、そして、最も偉大な敬虔な習慣の1つは、御言葉の中にあること、です。御言葉の中にあること。女性にとって、これは非常に重要です。私たち全員にとってそうですが、非常に重要なことなので聞いてください。既婚者の女性だけに言っているわけではありません。若い女性も、神の御言葉の中にあることが重要です。結婚している人、もちろんあなたもです。もしかしたら、ご主人の助けがないかもしれないからです。私たちはみな、神の御言葉を知る必要があるのです。女性の皆さんにとっては、控えめな表現かもしれませんが、なぜなら、エデンの園で、誘惑者が、最初に誰のところに来たでしょうか？最初に、女性のところに来ましたよね。誘惑者がイエスのところに来たとき、イエスは誘惑者とどのように対抗されたでしょうか？御言葉で、です。しかし、誘惑者がエバのところに来たとき、エバはどのように誘惑者に対抗したでしょうか。会話を重ねて、です。—爆笑—

何です？ —(笑)— もうドジったかな？ —(笑)— でも、事実ですよ？ 神の御言葉がそう語っているのです、何が起こったか分かりますね？ 彼女は相手におしゃべりします。

でしょ？ 問題です。それが、大きな問題です。聞いてください。この教会にリンダという姉妹がいますが、彼女は数年前に脳卒中で倒れました。そして、その後しばらくして、彼女は、誘惑者に目をつけられたのです。エホバの証人です。彼女は私に電話してきて言いました。「エホバの証人を知ってるわね。」—彼女が脳卒中になりました。そう、まず第一に、彼らが誰をターゲットにしているかを分かりますね。彼らは探しているんです。「お～弱わっている子羊がいるぞ。捕まえようぜ。」彼らはリンダの家に来て来ました。リンダは親切に彼らを家に入れました。彼女は.....彼らを家に入れ、彼らにイエスのことを話したのです。

—(笑)— リンダは聖句を語り、彼らは、何か月もやって来ました。そして最後に彼女は言いました。「何を私に言っても無駄だって事を教えてあげているのよ。これ（聖書）が私のイエスなの。」彼らは荷物をまとめて言いました。「もう二度とここには来ない。」彼女は、聖句で彼らを打ち返しました。主を褒めたたえます。リンダ！ —拍手喝采—

だからこそ、特に女性の皆さん、御言葉に触れることが大切なのです。そうすれば、全く同じことが出来ます。「箴言 31 章 30 節」にこう書かれています。神の御言葉をお読みします。

箴言 31

30「麗しきは偽り。美しさは空しい。しかし、【主】を恐れる女はほめたたえられる。」

皆さんは毎月、いや、もっと頻繁にこれを読んでいますね。おそらく、皆さんが本当に好きな御言葉のひとつなのでしょう。ええ、私もこの節が大好きです。ちなみに、他にもありますよ。でもこれは神の御約束です。神を知り、神を畏れることで、女性は自分に影響力があることを知り、それを敬虔な方法で行うのです。彼女は、自分が神にとって価値ある存在であり、人に認めてもらう事は必要ないことを知っているのです。それは必要ありません。彼女は、誘惑に打ち勝つために、神の御言葉に在ることの重要性を理解しています。彼らは近づいてきます。ただ時間の問題です。女性は、男性と共にいるのが神のご設計だと知っています。主の近くにいることで、主が彼女の心を、敬虔な男性に導いて下さる事を知っているの

です。これが理想的な方法であり、私たちが教えられるべきことです。このすべては、結婚前の敬虔な女性のためです。ここ教会の皆さん、私の話を聞いていますか？ これは結婚前の話です。もう1つ、敬虔な女性が結婚前に持つべき重要な理解があります。それは、彼女の呪いが生んだ弱点を明確に理解することです。自分の呪いが生んだ弱点を理解することです。人間が墮落した後、神が、蛇と女と男に与えた呪いについて、多くの人が知っていますね。女にかけられた呪いの中に、正しく理解すれば、敬虔な女性が、欲望と戦う助けになるものが1つあると私は信じます。面白いのは、聖書の中で最も引用されている聖句が、ヨハネ3章16節の「神は、実に、...世を愛された。」ですね。そして、最も議論を呼んでいるのが、創世記3章16節です。そうであってはならないのですが。実は、論争を呼んでいることが、その箇所が語っていることを確認させます。それを聖書に基づいて読んでいくと、見えてくるものがあります。聖書を見れば、主が語っておられること、特に女性に対して語っておられることに、誰もが納得するのではないのでしょうか。「創世記3章16節」神の御言葉をお読みします。

創世記 3

16 女にはこう言われた。「わたしは、あなたの苦しみとうめきを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。また、あなたは夫を恋慕うが、彼はあなたを支配することになる。」

ここで問題になるのは、「Desire/恋慕う」という単語です。多くの議論を巻き起こし、常に問題視されている言葉です。このことについて書かれた本や解説書など、色々あります。

この単語を（原語）ヘブライ語で見て訳すと、「欲望」「あこがれ」という意味です。この単語は、まさにそのような意味になるのです。ですが、この本文でも、他の本文と同様、「Desire/恋慕う」という単語を独り歩きさせるのではなく、これが故に、その単語にまつわる文脈や言葉も含めなければなりません。それから聖句を見て、真理の御言葉を理解し、正しく判断できるよう、その言葉や文脈が、他のどこで使われているかを確認するのです。それが本来すべきことです。推測や気持ち、感情ではなく。ここでの「Desire/恋慕う」という単語は、支配欲を表す言葉として使われているので、これを調べなければなりません。これが、そうなんです。まず、ここで忘れてはならないのは、これは呪いが宣告されているということです。いいですか？ 妻が私をより恋慕うようになる、と宣告された呪いとは、どういうことでしょうか。—(笑)— 理に合っていますか？「え、彼女はそうなるの？」また、ある人がこう言おうとしているのも理解できません。

「ええ、その恋慕うは、実はこうです。どんなにひどい仕打ちをされても、彼女はあなたと一緒にいたいと願うはず。」—(笑)— 聞いてください。そんなことはありません。それは、衝動的な支配欲です。これはまさに、「罪が私たちに抱かせる欲望」です。罪は私たちに支配したいのです。だから、私たちが欲しているのです。「創世記4章6-7節」に記されているのがカインの供え物が神から拒否されたことについてです。神の御言葉をお読みします。

創世記 4

6【主】はカインに言われた。「なぜ、あなたは怒っているのか。なぜ顔を伏せているのか。」

7もしあなたが良いことをしているのなら、受け入れられる。しかし、もし良いことをしていないのであれば、戸口で“罪が”待ち伏せている。罪はあなたを恋慕うが、あなたはそれを治めなければならない。」

これがわかりますか？ これは、「創世記3章16節」にある、ヘブライ語の同じ単語の翻訳です。ここで、罪に関する言葉を聞いてください。「罪はあなたを恋慕うが、あなたはそれを治めなければならない。」罪は支配しがります。言っておきますが、罪はあなたを愛そうとはしません。このことは、敬虔

な女性が理解する上で非常に重要です。なぜなら、このような衝動に駆られたときそれを防御することができ、人間の墮落の後でも、神があなたをその完全な任務に置かれたことから、あなたが盲目になるのを防ぐためです。そして今、私たちが話したように、このような霊的な基礎を持つ敬虔な女性は、ほ～世が目撃することのできる希有な女性の一人です。というのは、彼女がすでに持つ敬虔さによって、真の美徳が得られるからです。皆さん、それがわかるでしょうか？ この敬虔な女性が貞淑な妻になるのですから、これは理想的な結婚です。この敬虔な女性が貞淑な妻になるのですから、これは理想的な結婚です。滑らかな移行です。しかし、これらの原則は、結婚前からあるべきです。また、敬虔な女性は主を知り、主を畏れているので、夫の任務と共に、自分の任務が何かも正確に知っています。彼女はそれを理解しています。そのすべてが、彼女を、どんな宝石よりもはるかに価値のあるものにします。考えてみてください。真実ではないですか？ だからこそ、神の御言葉はこのように語っているのです。そして今、男性の助け手として、敬虔な女性は、結婚という神からの聖なる業を完成させる為、競争関係ではなく、補足関係であることを知るべきなのです。これは神の御目から見た真の結婚、つまり男と女のことであり、世が考えるようなことではありません。彼らがどう呼ぼうと勝手ですが、神は決してそのように見られません。彼らは、神の御心を変えられると思っていますが、御言葉はこう語ります。「【主】であるわたしは変わることがない。」さて、このように神の女性における私たちがすでに確立したこれらの核となる敬虔さの資質を理解しながら、次は「箴言 31 章」の貞淑な妻について見ていきましょう。それは、彼女の残りの人生を通しての資質の継続と増大ともいうべきものです。そう語りかけているのです。数が多すぎるので、そのうちのいくつかを取り上げることにします。皆さん知ってますよね？ 多すぎるんです。ということで、全部ではありません。皆さんは、「箴言」をいつも学んでますよね。そうでしょうとも。皆さんは、とても敬虔な方ばかりですから。皆さんは、実に素晴らしいです！ 最初の資質として、11 節から 12 節にあるように、2 つの資質を取り上げます。他にもっと多くあるでしょうが、2 つあって、それは夫が妻を信頼することで、それで彼らは収益に欠くことはありません。2 つあって、それは夫が妻を信頼することで、それで彼らは収益に欠くことはありません。彼女は信頼できる、誠実な妻です。そういう夫が、妻を追い立てるといような、時間の無駄をする必要ありません。彼女は何をすべきか知っています。人間関係によっては、悲しいかな、この模範に従わないとき、すべてが狂ってしまうんですね。家を過ごしやすい住まいにするために、すべてを一緒にやらなければならない。なぜなら相手を信頼できないからです。それは正しくありません。違います。妻は、きちんとできるのです。妻は信頼でき、残りのそれらの資源/財源で、任務（家事）をまっとうします。私は、それらをしてくれると妻を頼りにしています。それが、私を前に向かわせます。このような問題を私が正す必要がないため、私たちの生活を向上させられるのです。また、金銭面でも夫が、完全に妻を信頼していることが語られています。利得を欠くことはありません。貯蓄や投資をできるのは、皆さん、妻のおかげです。全てに忠実だからです。さて、1 つだけ理解しておいてほしいのは、これはプロセスであるということです。本当にそうなんです。でも、私たちは言い訳はできません。御言葉は私たちの目の前にあるのです。もし私たちが今このような立場にないのなら、祈ってください。そうすれば神は、私たちの人生を、そこに行くための道しるべへと整えてくださいます。私たちが置かれている状況でできる限り、最低限それを知っておくことで、これから起こるであろうことに対して防御することができるのです。本当に大事なことなのです。そうすれば、私たちが覚えておくなら、状況は関係がないのです。私たちは、ただ主をその中心、全ての中心に置かなければならないのです。私たちがすべて主のために行う限り、主は私たちのために道を開いてく

ださるのです。しかし、ここでの神の女性は、信頼に足る誠実な人であり、もしかしたら、ここにその例があるかもしれません。あなたのご家庭での意見は、貴重なものでしょう。そしてそこから、すべての決定がなされ、あなたもそこに含まれることになるのです。そして、実行可能なことが決まると、その責任の一端を担うことになるのです。そして、そこから得られる利益を、あなたも享受することができるのです。これが私たちのすることです。これは一例です。他にも結構ありますね。それゆえに、女性はどう思い、どう感じるのでしょうか？「ああ、私には責任がある。ここは私の家です。私は大きな責任がある。自分の立場をわきまえなくては。」そして、彼女は生涯、悪を行うことはないでしょう。13-15 節で、主は私たちにこの二つに注目させようとしておられます。それは、勤勉であることと創造的であることです。これに関して、私たちは自分の世界に入ってしまうこともあります。

勤勉：なすべきことを求め、それを見抜き、すべてに踏み込まないこと。

考えてみてください。ああ、なんと...「勤勉」何でもかんでも電子レンジにかけるのではなく、家族にとってより良いものを作るために、余計な手間をかけることを厭わない。－（笑）－ 何です？ 私は本気です。敬虔な女性は気を使います。毎晩お弁当ではなく、工夫を凝らしているのです。刑務所の中ではそうですよ。－（笑）－ 本気です。今は、ある状況がそれを許さないことは分かっています。分かっているのですが、でもね、できることなら、兄弟に食事をごちそうしてあげてください。敬虔な女性は節約する方法を知っていて、そして、彼女は必ず自分の仕事を優先します。彼女は早起きで、聖書には、太陽が昇る前に起きると書いてあります。ええ。「私は早起きではない」「私は朝型人間ではない」となりますよね？ でも、敬虔な女性は早起きなのです。－（笑）－ それが、御言葉が語っていることです。聖なるコーヒーを飲まなければならないかもしれません。でも、起きてください。－（笑）－ 実際、聖書には、「朝早く主を求める者は、主を見つける」と書かれています。そうですね？ それは私たちの問題ですか？ 昼の 1 時に神を求めるということですか？ さて、次は脈絡のない話になります。皆さん、どうということ？となるでしょう。だから、皆さんの思い混乱する前に、私の話を聞いてほしいのです。次のものは、16-18 節にあります。1 つ持ち出せば、その理由がわかります。そして、その素質こそが、私が言う「経済的に自立した貢献者」なのです。そして、その素質こそが、私が言う「経済的に自立した貢献者」なのです。何も推測しないでください。説明させてください。とにかくやってみます。敬虔な妻のために。今はこの箇所について話しています。すべての家庭の事情に当てはまるわけではないでしょうが、こういうことです。敬虔な妻には、男が自分の仕事を続けている間、その資源/財源を預けることができます。彼女はそれを受け取り、そこからどんな利益が出ようとも、「どういった分野に再投資すればいいのか」ということを、夫の指示がなくとも認識することができるのです。彼女は良い取引を見つけることができます。彼女は知っています。皆さんはもうすでに得意ですよ。彼女はそれを家族の改善のために利用することができるのです。私の言っていることが理解できますか？ だから、彼女はそこから目利きをして、一儲けすることができるわけです。そして、夫が帰ってきたら、「ええ、全部でいくらしたんだ？」と言います。「どういう意味？ あれとこれとそれも、私はすべて対処したわよ。」彼女は、スリルを味わうことを放棄することなく、うまく取り引きをする方法を知っています。－（笑）－ とにかく。それは置いておきます。さっき、カポノがそう言えって言ったのです。－（笑）－ でも、真実です。敬虔な妻は、それを実現させることができるのです。そして、これは稼ぎ頭であることについての努力ではありません。全然中身が違うし、リスクを取ることもありません。これは、慎重かつ計算された儲け方です。敬虔な妻はそれを成し遂げることができるのです。敬虔な男性は、どんな反応

を示すと思いますか？ おお、感謝するのです。そして、彼は彼女を励まし、感謝することになるのです。彼はそういう自立性を歓迎しているのです。歓迎しないのは誰か？ そして、彼の反応が何を示しているかわかりますか？ その家庭の中で自分の居場所がどこにあるのか。それは、第一礼拝で話した「肯定感」の部分です。妻は肯定されます。そして、その過程で何が起ころのでしょうか？ ヤバいです、こんな風に膨らんで。ほら（歌いながら）「アイム・エブリ・ウーマン！ ♪」わかりますか？ —（笑）— どこから出てきたんだろう。—（笑）— おお、なんとということでしょう！ 学びのこの時点で、少し回り道をして、フェミニズム（女性解放思想）を見るのに良い場所だと思います。なぜ、これや他の運動が、益よりも害を及ぼすのか。特に、そこに属してないキリストの体の中で。平等と正義はそもそも問題にされるべきではありませんでした。決して。平等と正義はそもそも問題にされるべきではありませんでした。決して。そして、その責任は私たち全員にあるのです。そして、その責任は私たち全員にあるのです。もし、神の模範が守られていたなら、女性の平等は、決して問題ではなかったでしょう。女性の基本的な人権が制限されることはなかったでしょう。女性の価値、真の価値は決して搾取されることはなかったはずで。そして、このアメリカンドリームやその他の夢は、私たちがどう生きべきかという神の現実に勝つことはなかったでしょう。また、家庭の主婦という立場も、貶めるのではなく、高められ、持ち上げ、支持されてきたはずで。しかし、そうはいかないからこそ、ある種の権利を求める戦いは続いています。テレビをつければ、必ず目にすることができます。どこにでもあるのです。そのすべてが、何年も前から動き始めているのです。そして、ある権利や持つべきもののために戦うことは、必ずしも問題ではありません。問題は、その戦いに神がおられない場合です。もし神がその戦いにおられないなら、悪魔がいると思った方が良いでしょう。悪魔はそれを楽しみ、愛しています、なぜなら、悪魔はその運動を正確に把握しているからです。だから、そういう運動は、最初は”崇高な”ものなのです。このような”崇高な”意図は、常に邪悪な野心で終わるのです。なぜかわかりますか？ なぜなら、人々が惹きつけられるのは運動そのもので、そして、それで利益を得ると、「ああ、この運動はどんな手段を使っても続けなければならない」という理由の一つになります。だって、もし止まったら、どうしたらいいのか？ ちゃんとした仕事に就かなければなりません。—（笑）— 「本当に仕事に行かなければならない。」「こっちの方が楽しいのに。」マジで？ 崇高な運動、それらの運動から離れましょう。近寄らないでください。なぜなら、そうやって結局、女性の選挙権、基本的な権利、「良いことだ！」といった、平等の運動を目指すことになるからです。なぜなら、そうやって結局、女性の選挙権、基本的な権利、「良いことだ！」といった、平等の運動を目指すことになるからです。「投票しよう！」「そうだ、女性を連れてきて、投票しよう。」そして、フェミニズム運動はこのように変化していきます。そして、フェミニズム運動はこのように変化していきます。〈スクリーン：小人の男性を手に掴む女性〉—（笑）— 支配。

「長年、こうされてたのだから、今度は、こうしてやるわ！」—（笑）— 今の世の中はそうですね？ その欲望…？ それはもはや平等ではありません。それは支配です。ああ、ここで終わらないのです。すると、その運動がこう変わります。[スクリーン]『真のフェミニズムはトランス・インクルーシブだ』これが見えますか？ フェミニズム運動におけるトランスジェンダーの取り込み。ブラック・ライブズ・マターのようなグループが向かった先と同じです。同じ取引です。みんな行き着くところは、悪は悪と手を結ぶのです。分かりますか？ また、アメリカ初期のフェミニスト運動は、別の名前で行われていたことを認識しておいてください。しかし、この運動自体が始まり、その一部の大きな部分を占めていたのは、州のためであり、政府がフェミニズムの旗の下に、安全に中絶できる場所を州に持たせることでし

た。さあ、考えてみてください。このゴミの仲間になりたいですか？ やるべき事にはやり方がありますが、そのやり方は神のご方法なのです。さて、敬虔な妻の話に戻りましょう。こちらを見ていただくと、もっとたくさん出てきますが、ざっと抜粋したのはこのくらいです。彼女はサポート役です。主がお導きになるままに、困っている人たちを助けます。彼女は性格が強く、彼女の振る舞いは立派なのです。彼女は社会的に精選しますが、従事しています。孤立することはありません。神の御言葉は何を仰っておられるのか？「私たちの光を輝かせなさい。」言い換えですね。外に出ずに、どうやって輝かせるのですか？「誰かと一緒にいるのが嫌なのです。」え、それが言い訳ですか？ リストから外すんでしょう？ 気質が違うのは分かっています。でも、主の導きのままに、私たちには聖霊の強い働きがあるので、どうぞ外へ出て行ってください。きっと想像を超える祝福を受けることでしょう。不本意ながらも良いのです。祝福は、そこにあります。大丈夫です。彼女は賢く話し、傷つけるような鋭い言葉を使わず、励ます言葉を使います。彼女は家庭を丁寧に、正確に管理し、大切なことに忙しく取り組んでいます。繰り返しますが、これらはほんの一部です。では、その結果、少なくともその一部はどうなったのでしょうか。彼女は何を期待できるのか？ さて、その答えは、箴言 31 章 28 節から 29 節に書かれています。

箴言 31

28 その子たちは立ち上がって彼女をたたえ、夫も彼女をほめたたえて言う。

そして夫はこう言うのです。

29 「力ある働きをする女は多いが、あなたは、そのすべてにまさっている」と。

これが夫です！ さて、敬虔な男性についてすでにお話しましたが、ここで皆さんに質問してみましよう。最後にこんな風に妻を褒めたのはいつですか？ 中には、「まあ、彼女がサンドイッチか何かをくれるなら、褒めてもいいが…」みたいな人もいますよね。－（笑）－ でも、わかりますよね？ それを考えるべきであり、妻たちを褒めるべきなのです。そこで、28 節では、今度は子どもたちが出てきます。そして、この最初の主への畏れが、神の女性が御言葉を通して主と親しくなるきっかけとなり、今、大きな成果を上げているところなのです。どうしてか？ 先ほど徳の高い妻の特質についてお話しましたが、その特質の 1 つは家庭を監督、家庭を監督することです。そして、その義務の中で、妻は子どもたちに神の御言葉と神に従う生き方を教えるという大きな責任を負っているのです。それは大きな責任です。今の世の中を見てください。誰が子どもたちに教えていますか？ 今は、責任を取ってくれる祖父母や、おばや、いろいろな人がいて、それはそれでいいんですが、そのことに、主に感謝します。しかし、これは神のご方法です。キリストが中心であることを忘れないでください。主が道を切り開いてくださるので、落胆しないでください。女性は自然に子どもとつながり、子どもを育てるための大きな影響力をもっています。女性は自然に子どもとつながり、子どもを育てるための大きな影響力をもっています。そして、子どもたちに教えることで、子どもたちがこの世界に踏み出したときに、その世界の一部にならないように助けるのです。子ども達は、御言葉の上に立つことができるようになるのです。学校はそんなことやっていません。逆をやっています。地獄の子を育てているのです。神の御言葉、御言葉の神を知っているからこそ、敬虔な子どもを育てることが私たちの義務なのです。考えてみてください。子どもたちを監督するのが誰であろうと、おばさんや祖父母であろうと、私たち全員が子どもたちに教えるべきなのです。私はよく、家庭で女性が子どもたちに、どのように敬虔に生きるべきか、敬虔な妻は何をすべきか、敬虔な夫はどうあるべきかを教え、そして、その夫が、母親が教えていることをそのまま実行しているのを子どもが見ることができたら、それはどれほど影響を与えるだろうかと思えます。ついてきてますか？

母親が御言葉を教え、父親がそれを実行しているわけです。その家庭で大きな影響を与えます。それが私たちの目指すべき姿です。アメリカンドリームは神の夢ではありません。神の現実ではありません。それは、アメリカが言っていることです。私たちは、神の現実、聖書の世界観に従わなければなりません。それが、私たちや子どもたちにとって一番良いことなのです。今、敬虔な女性に関するお決まりの聖句は出しませんでした。なぜなら、このような箇所を見てきた後では、神からの他のすべての命令があまりにも簡単に思うからです。もし、敬虔な妻になる敬虔な女性がすでにこれを備えているなら、神の残りの命令は、聖霊の力によって喜んで従いたいと思うのはあまりにも簡単なことなのです。ついてきてますか？ 考えてみてください。ここまでやってきて、今さらですが、どうでしょう？ エペソ人への手紙5章22節～24節です。

エペソ人への手紙5

22 妻たちよ。主に従うように、自分の夫に従いなさい。

23 キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。

24 教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従いなさい。

そして、注意していただきたいのは、これは男性に従うことではありません。”自分の夫に従うこと”、その服従がどのようなものであるかを知るべきです。これは、不敬虔なことで夫に従うのではなく、敬虔なこと、夫としての責務に従うのです。身を任せて悪を行ってはなりません。「私は夫の言うことに従っているだけです」と。違います。それは違います。あなたはすべてのことを主に対して行うのです。そして、あなたには敬虔な男性がいることを祈りますが、しかし、そうでない場合でも、敬虔な女性として従うようにと求められているのです。ペテロの手紙第一3章1-2節、お読みします。

ペテロ第一3

1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとされるためです。

2 夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目にするのです。

これらの節を見てください。「従いなさい。たとえ、夫が御言葉に従わなくても、」あなたの行動が、彼らの頑なな心を変えるかもしれないのです。2節で「あなたの純粋な生き方を彼らが目にする時」とあります。それは、主を畏れる気持ちと一致しています。ここで多くの人が失敗してしまうのです。そのような純粋な生き方をする代わりに、夫を聖書で叩き、口うるさく、怒鳴り、叫びますよね？ そして、彼らが主のもとに来ることを期待するのです。そういう対応をすると、その器として用いられる力を奪ってしまうこととなりますよ。「夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目にするのです。」高齢の女性にとって、あなたがやもめであろうと、未亡人であろうと、未婚であろうと、結婚していようと、あなたの敬虔な女性としての任務はまだ続いているのです。あなたには、やり遂げた方がいい大きな課題があります。テトスへの手紙2章3～5節、お読みします。

テトスへの手紙2

3 同じように、年配の女の人には、神に仕えている者にふさわしくふるまい、人を中傷せず、大酒のとりこにならず、良いことを教える者であるように。

4 そうすれば、彼女たちは若い女の人に、夫を愛し、子どもを愛し、

5 慎み深く、貞潔で、家事に励み、善良で、自分の夫に従順であるように諭すことができます。神のこと

ばが悪く言われることのないようにするためです。

高齢の女性、年配の女性、全員に任務があります。それは特にあなたに当てはまります。「神のことが悪く言われることのないようにするため」さて、これらすべてが敬虔な女性の象徴であり、他にもたくさんあります。この教えが役目を成し遂げることを祈るばかりです。神が私たちの人生に与えてくださる神の任務がいかに重要であるかを理解するようになることを祈っています。そして、聖霊の力によって、家族の中でできる限りのことをすべて行ったとしても、家族が混乱し、物事がうまくいかないときでも、心を痛めないでください。私たちは皆、真の生ける神を信じ、父なる神の御心を行う者たちによって構成される霊的な家族を持っているので、元気を出してください。そして、その家族とは、誰もがその一員となることができるのですが、しかし、この家族のかしらは誰なのかを知らなければならないのです。この家族のかしらは、イエス・キリストです。これは神の家族であり、キリストはこの家族に接ぎ木される唯一の方法なのです。そして神は、私たちが神と和解することを心から願っておられるのです。私たちは神に支配してもらわなければならないのです。そこが、完璧にぴったりなのです。主に支配されましょう。そしてそれは、イエス・キリストの福音によって実現することができるのです。イエス・キリストの福音とは、キリストが聖書に従って私たちの罪のために死なれ、葬られ、聖書に従って三日目によみがえられたことです。そして、救われるのはABCのようにシンプルです。まず、自分が罪びとであり、イエス・キリストという救い主を必要としていることを認識する/Acknowledge ことです。

ローマ人への手紙 3章 10節

「次のように書いてあるとおりです。『義人はいない。一人もいない。』」

そして 23 節には、「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」とあります。キリストなしには、誰も入れません。誰も。また、6章 23 節にはこう書かれています。「罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」それが「A」です。そして B は believe (信じる)、C は confess (告白する) を表しています。そして B は believe (信じる)、C は confess (告白する) を表しています。いずれもローマ人への手紙 10 章 9 から 10 節収められています。お読みします。

「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

繰り返しになりますが、これから離れている家族は、守られません。私たちは神の守りを受け、神の家族の一員となる必要があります。御言葉は、具体的に語っています。ペテロの手紙第 2 章 9 節です。

II ペテロ 3

9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

この無償の救いの贈り物を断らずに、最終的に本当に重要な唯一の家族の一員となりましょう。祈りましょう、お立ちください。カポノ、歌で私たちに祝福してくれませんか？

愛する天の父よ、主よ、今日ここであなたが成し遂げてくださったすべてのことに、もう一度感謝します。そして、主よ、あなたの御言葉がうまく伝わったことを祈ります。主よ、壊れた器として、私から何が出てきても、あなたの聖霊の力によってすべてを正し、すべての耳と心が、受け取ることができるよう

に調整してください。主よ、私たちはあなたの家族に属し、とても感謝しています。私たちは墮落した世界に住んでいて、家族はいろいろと混乱していますが、私たちがあなたを人生の中心に据えている限り、私たちのために物事を正してください。主よ、あなたの聖霊の力によって、私たちが取り組むべき分野に努力し、あなたの御言葉とあなたの真理のみによって私たちに罪を示し、確信させ続けてください。今日ここであなたがしてくださったすべてのことに感謝し、再び会えるときまで私たちを祝福してくださいませよう祈ります。イエス・キリストの力強い御名によって、祈ります、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7